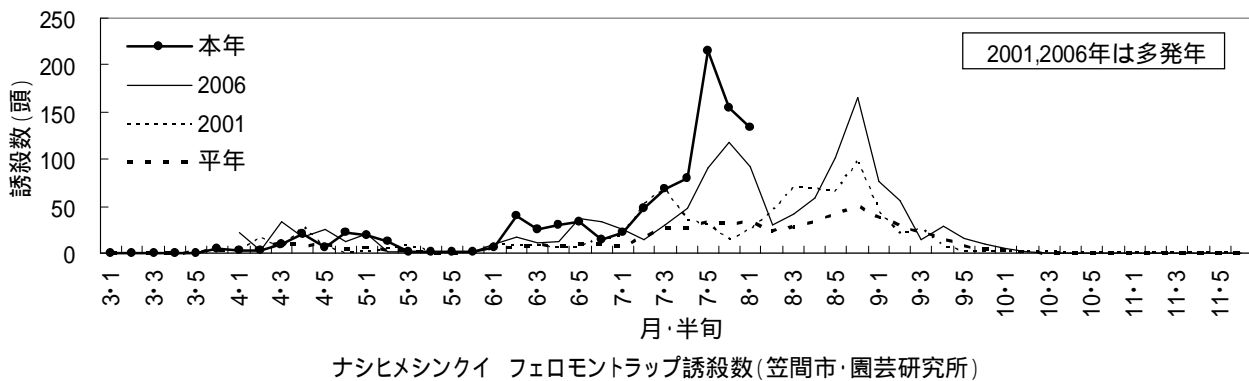


「豊水」「あきづき」「新高」で、ナシヒメシクイの被害に注意

8月上旬現在，ナシヒメシクイ成虫が多く発生しています

[現在の発生状況]

県予察ほ場（笠間市，園芸研究所）に設置したフェロモントラップへのナシヒメシクイ成虫の誘殺数は，平年より多い。また，地区予察ほ場（小美玉市，石岡市，土浦市）に設置したフェロモントラップのうち，石岡市における誘殺数は平年より多い。ナシヒメシクイ第2世代成虫の誘殺ピークは，7月第5～6半旬であった。



[防除対策]

第2世代成虫の発生は，8月上旬になっても続いているため，8月中旬の防除を実施する。

晩生品種での被害が大きい第3世代成虫の発生ピークは8月6半旬頃と予想される。防除適期は，卵からふ化した幼虫が果実内に侵入する前で，8月6半旬～9月1半旬頃となる。

幸水で被害がみられた園では，晩生品種を対象とした防除を必ず行う。

収穫前日数に十分注意して薬剤を選択するとともに，散布の際は10a当たり300を目安に，散布圧および散布速度を調節し，縦横の井桁走行を行うなど，かけむらのないよう丁寧に行う。その際，周囲への飛散（ドリフト）には十分注意する。

被害果は，速やかに水に浸漬するか，土中深く埋める。

【ナシヒメシクイの生態】

老熟幼虫が越冬し，4月下旬頃から越冬世代成虫が発生する。その後第1世代成虫は6月下旬頃，第2世代成虫は7月下旬頃，第3世代成虫は8月下旬～9月上旬に発生する。ナシへの加害は，第2世代以降の幼虫が主体である。一般的に世代を重ねるごとに発生は多くなるため，晩生品種の方が加害を受けやすい。